



# しもの幸助 県政レポート

三重県議会議員 (鈴鹿市選出)  
しもの こうすけ  
下野幸助 (38歳)

- ①総務地域連携常任委員会 副委員長
- ②予算決算常任委員会 委員
- ③四日市港管理組合議会 議員
- ④三重県環境審議会 委員



発行：三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

## 平成26年三重県議会定例会(9月)下野幸助議員、一般質問に登壇!

平成26年三重県議会定例会(9月)において、下野幸助議員が質問に立ち、4項目について質問しました。

### ■質問項目

- ①三重県の非正規雇用対策について
- ②三重県の介護保険制度の現状と今後の対策について
- ③燃料電池自動車の推進について
- ④三重県の少子化対策～みえの育児男子プロジェクトについて～



### 1 三重県の非正規雇用対策について

#### 下野質問

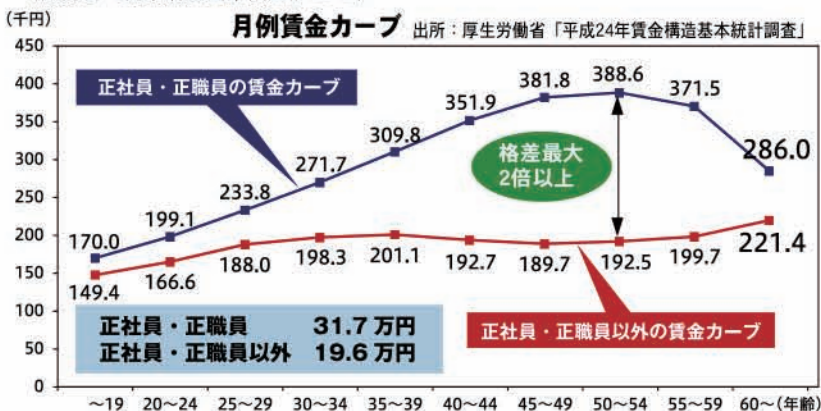
社会の経済的格差が広がる要因の一つは、非正規雇用労働者(パート、アルバイト、派遣・契約社員等)が増加していることが挙げられます。三重県では役員を除く雇用者数は約78万5千人、そのうち、正規職員は約48万人、残りの約30万人が非正規雇用となっています。総務省が実施した労働力調査(平成25年)によると、不本意ながら非正規職員で働いている25歳から34歳までの年齢層の割合は3割強となっており、若年層の正社員化対策が重要であると考えています。県内でも有効求人倍率が1を超えたという報道が先行していますが、正社員に限定した三重県の有効求人倍率(平成25年度)は、0.57で、約2人に1人の割合です。このような観点から、三重県において、非正規雇用労働問題・解決に向けて、現実を直視した県の取り組みが必要と考えますがいかがでしょうか。

#### 三重県・全国平均 非正規雇用労働者数・非正規率

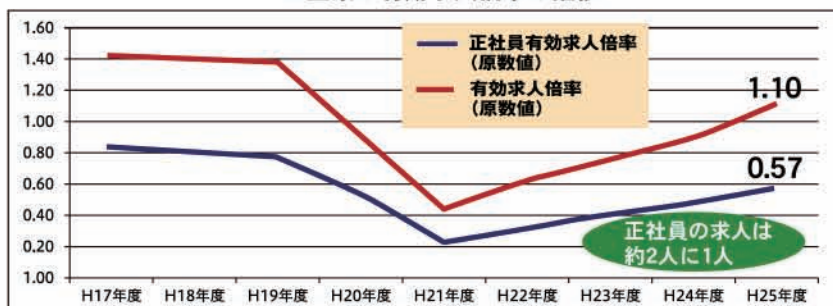
	役員を除く雇用者(a+b)	正規の職員・従業員(a)	非正規の職員・従業員総数(b)	役員を除く雇用者に占める非正規の割合 b/(a+b)
全国	53,537,500	33,110,400	20,427,100	38.2%
三重県	785,600	482,700	302,900	38.6%

- ①三重県は非正規雇用の割合が全国平均よりもやや高い
- ②役員を除く雇用者の約4割が非正規の職員・従業員
- ③非正規の職員・従業員の約7割がパートもしくはアルバイト

(総務省「就業構造基本調査」2012)



#### 三重県の有効求人倍率の推移



#### 知事答弁

働く人にとっては、安定した雇用のもとで、経済的な生活基盤を確立することが極めて重要です。非正規社員の中には、様々なライフスタイルの中で、自ら望んで非正規社員になる場合もありますが、正規社員として働く機会がなく、非正規雇用で働いている不本意非正規社員となる場合があります。その点が大きな改善課題であると認識しています。不本意非正規社員の割合は25歳から34歳までの年齢層では、30.3%と高くなっていることから、若年者不本意非正規社員の正社員化が重要な課題だと考えています。そのため、県では、正社員を目指す、就職未定者や非正規社

員等の若年層を対象に、社会人としてのスキルをレベルアップする研修と企業での実地研修を組み合わせ、長期の実践的なインターンシップを実施しているところです。一方、正社員化を促進するには、企業の理解が不可欠です。現在、国で進められている「正社員実現加速プロジェクト」とも連携し、取組を進めてまいりたいと考えております。

### 2 三重県の介護保険制度の現状と今後の対策について

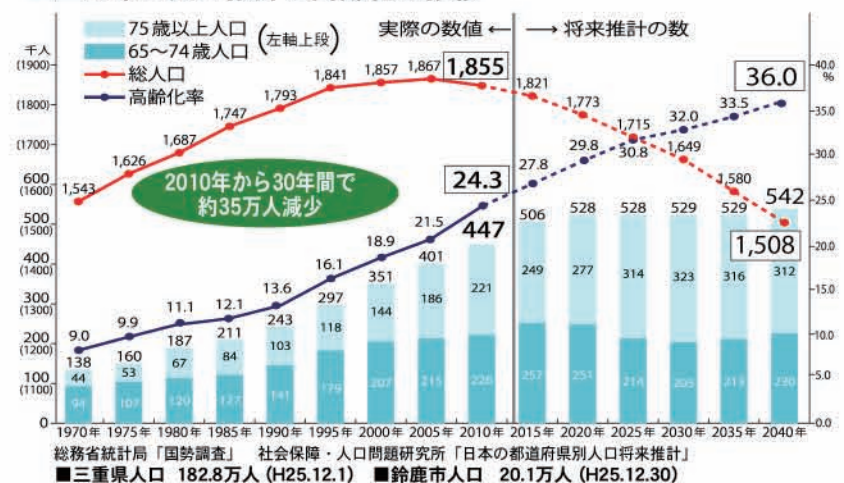
#### 下野質問

平成12年にスタートした介護保険制度は、今年で15年を迎えました。この間、日本全体では人口高齢化率は17.4%から25.1%へ上昇し、介護保険に係る費用も、平成12年度の約3.6兆円から平成25年度には9.4兆円へ急増しました。

このような状況の中で、介護給付と負担のバランスを、今一度、10年、20年後の要介護・要支援者数を推計し、長期的な予防対策を軸軸に考えて行くべきだと思いますが、県当局のご答弁願います。

平成27年度からの介護保険法改正されますが、予防給付の見直しにより、地域支援事業がNPO、住民ボランティアによる掃除、ゴミだし等の生活支援サービスが始まりますが、質の担保は維持できるのか。地域間格差について、三重県が市町全体で格差が生じないように、また良い事例が水平展開できるように、情報共有など、県全体のマネジメントについてお尋ねします。

#### ■三重県の人口推計と高齢化の推移



#### 三重県における介護費用と県負担金の推移 (単位：億円)



●県・市町村の負担金額は費用額の各12.5%、国25%、保険料50%  
※施設等給付の場合は国20%、都道府県17.5%

#### 健康福祉部 部長答弁

介護保険制度は、サービスの量が増えれば、それに要する給付費が高くなる仕組みとなっています。介護費用の増加に伴って介護保険料の上昇が見込まれる中、介護保険制度の持続可能性を高めるために、介護給付の重点化・効率化が課題となっています。今回の制度改正では、要支援者に対する介護予防給付のうち、訪問介護と通所介護を地域支援事業に移すことにより、市町が地域の実情に応じて、住民など多様な主体による「生活支援サービス」を、効果的かつ効率的に提供できるよう見直しが行われました。この事業は、すべての市町において、平成29年4月までに開始する必要があることから、県としては、来年度から、「生活支援コーディネーター」養成のための研修を行うとともに、養成したコーディネーターや市町担当者を対象として介護予防の研修や意見交換会を開催し、活動の好事例を紹介するなどサービスの質の確保に向けて支援してまいりたいと考えています。



### 3 燃料電池自動車の推進について

**下野質問** 燃料電池自動車とは、水素と酸素を化学反応させて電気をつくる「燃料電池」を搭載し、モーターで走行するクルマです。ガソリンに代わる燃料である水素は、環境にやさしく、さまざまな原料からつくることができるエネルギーです。今年度内にトヨタから燃料電池車発売を皮切りに、2015年度には引き続きホンダ、日産も発売される予定です。水素ステーションが三重県内において、現在ひとつも確保できていないという状況は大きな問題と思いますが、県当局のインフラ整備についてのお考えはいかがでしょう。

#### 燃料電池自動車と電気自動車の主な比較

	航続距離 (Km)	充填・充電時間 (分)	充填・充電設備費用 (円)
燃料電池自動車 (FCV) Fuel Cell Vehicle	600~700	3	3~6億
電気自動車 (EV) Electric Vehicle	228 (国交省審査値)	30 (急速充電)	100~500万

#### 雇用経済部 部長答弁

水素インフラの整備については、燃料電池自動車の普及の初期段階であることから、機動力があり、広い範囲をカバーすることが可能な移動式水素ステーションについて、市町と連携しながら、現在、適地情報を収集しているところです。今後、外部の有識者や企業かが参加する検討の場を設けて、登録乗用車台数や交通量の多い路線などを考慮しながら、どのような場所に設置すれば良いかなどについて、検討していきたいと考えています。

### 4 三重県の少子化対策 ～みえの育児男子プロジェクトについて～

**下野質問** 厚生労働省では、男性の育児休業取得率を現状の2.03%から2017年度には10%に、2020年度には13%に上げることなどを目標に掲げ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）の実現に取り組んでいます。一方、三重県において雇用面から考察すると、県内にある約6万社の企業のうち99.8%が中小企業・小規模企業です。また、雇用者数では約49万人のうち86.3%の約42万人が中小企業・小規模企業で働いています、このような状況から、中小企業・小規模企業で働いている男性に育児の重要性を理解していただき、県として普及活動に努めて頂くことが目標をクリアすることからも重要であると考えますが、当局のご答弁をお願い申し上げます。



#### 子ども・家庭局長答弁

県内の中小企業を対象に、企業の合計特殊出生率調査である「三重県企業子宝率調査」を実施し、子育てに優しい取組の事例を表彰、広く公表・発信するなど、県内企業の大部分を占める中小企業に対して、しっかりと応援ができるよう取り組んでいきます。



### しもの幸助

## 活動報告

### 1 10/17 四日市港管理組合議会 議会報告会 (年1回)

県民の皆様を対象に開催される四日市港管理組合議会の議会報告会（年1回）に出席しました。四日市港管理組合では、条例や予算を議決する機関として四日市港管理組合議会が置かれ、組合議会は、四日市港管理組合のいろいろな事業を進めていく上で重要な事柄を議論し、決定しています。



### 10/20~29 平成26年四日市港管理組合議会 第3回定例会

平成25年度 四日市港管理組合の歳入歳出決算（一般会計歳入62億円、港湾整備事業特別会計歳入37億円）の審査、また平成40年代前半の四日市港を想定した次期戦略計画などの協議を行いました。



### 2 10/11 鈴鹿市加佐登地区敬老会開催 ~県内の長寿者が過去最多を更新~

平成26年9月15日における100歳以上の高齢者は、県内で828人（男性103人、女性725人）と過去最多を更新し、昨年度の調査と比べ65人の増加となりました。最高齢者は、女性109歳（鈴鹿市）、男性108歳（東員町）です。

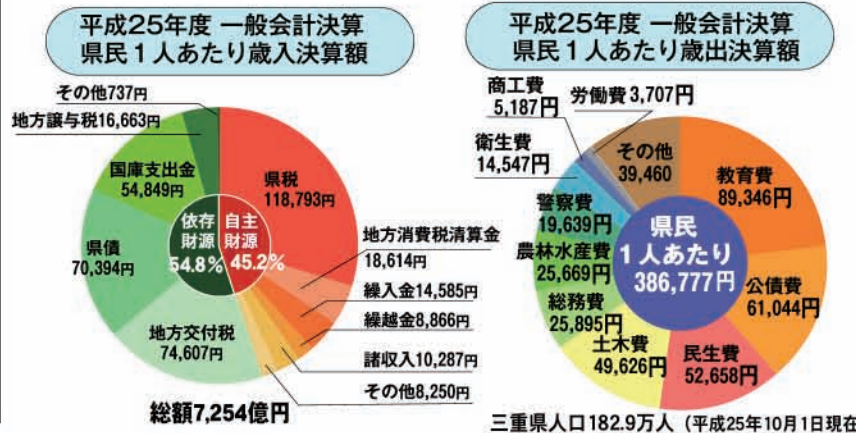


### 3 10/28 平成25年度決算総括質疑

三重県議会で平成25年度決算総括質疑が行われ、所属する新政みえ（第1会派県議24名所属）を代表して三重県知事、関係部局長に対し、下記3点の項目について質問をさせていただきました。



- 詳しい内容につきましては、しもの幸助事務所までお問い合わせください。
- (1)首都圏営業拠点「三重テラス」の運営状況について**  
昨年9月28日にオープンして1年間の総括的な鈴木知事の感想、今後の取り組みをお伺いし、知事からは全体を通じて評価するなら「中の上」というコメントを頂きました。1年間で約57万人が三重テラスに会場し、認知度は向上しましたが2年目以降、売上を含めた経営状況を強化してほしい要望をしました。
  - (2)将来負担比率について**  
県民負担となる負債残高等の比率、いわゆる将来負担比率は、平成19年度185.9%、20年度190.9%ともに全国上位6位でしたが、平成23年度は197.9%と17位になり、平成25年度は194.8%と比率は改善されたものの全国順位はさらに低下し21位となっています。今後の厳しい財政を考慮して、更なる行財政改革のスピードアップを求めました。
  - (3)三重県 基金の運用について**  
平成25年度末現在で基金（貯金の財布）は40種類、基金残高は677億円あります。基金の運用は出納局が一元的に管理し、25年度の利回り実績は0.198パーセントです。三重県基金運用方針では、安全性、流動性、効率性の順番で、資金運用の優先順位が付けられていますが、地方公共団体におけるファイナンス（資金調達・運用）の強化・検討をお願いしました。例：国東市では年利1.96%で運用されています。



#### 三重県議会議員

### しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1  
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助公式ホームページ  
<http://www.k-shimono.com>

しもの幸助コツコツ活動日記  
<https://www.facebook.com/shimono19761107>



皆様からのご意見をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

#### しもの幸助プロフィール

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在37歳
- 1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学（聴講生留学）
- 2001年10月 内閣官房（国家公務員／内閣事務官）
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了（MBA取得／経営学）
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙（鈴鹿市選挙区）初当選